

## 炭火消壺 炭消番「赤鬼三郎」

品番：S-300

このたびは、シルクルーム 炭火消壺「赤鬼三郎」をお買い上げ頂きまして有難うございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、正しくお使い下さい。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

■ 絵表示について次のような意味があります。



火災注意：火災に気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



高温注意：高温に注意していただきたい「注意喚起」の内容です。



一般的な禁止：行ってはいけない「禁止」内容です。

特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください。)

 **警告**


火災注意

- 火のついた炭を機器に入れるとき、周囲のものに炭火が引火しないよう注意してください。
- 機器に火をいれた後、1時間以上は蓋や本体が高温になっています。機器の周りに可燃性(カーテン・新聞紙・紙袋)や引火性(エアゾール缶など)ものは置かないで下さい。

 **注意**

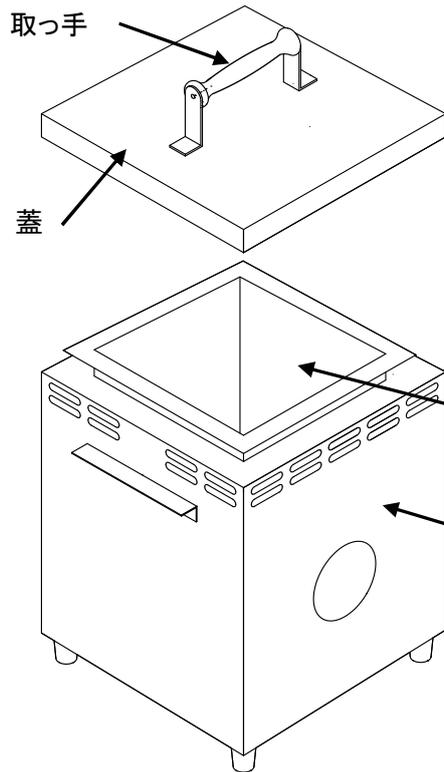

高温注意

- 本体底面も高温になります。本体をフローリングやじゅうたんなどの上に置かないでください。
- 本体や蓋が高温になっている場合がありますので、お子様が触らないよう注意してください。又、蓋の開閉は必ず木製の取っ手を持って行なってください。
- 炭を入れたあと、蓋は確実に閉めてください。蓋と本体の間にスキマがありますと炭が燃焼し続け、蓋・本体が非常に高温になります。



- 本体に入れる炭の量は、八文目程度までにして下さい。多すぎると蓋にスキマが生じ、炭が燃焼し続けます。
- 炭を本体に入れて直ぐに、移動しないで下さい。炭は本体に入れても直ぐに消えませんが、消火して冷却するまでには1時間以上かかります。
- 炭を本体に入れた後、水等をかけないで下さい。本体の腐食が早まり、底面より水が垂れたりします。

## □ 各部の名称・仕様



### ■ 仕様表

項目	仕様
製品名	炭火消壺 炭消番「赤鬼三郎」
製品番号	S-300
外形寸法	300×260×423.5(mm)
炭ケース内径寸法	200×200×280(mm)
質量	7(kg)

## □ ご使用方法

- 蓋を開け、消したい炭を炭ケースの中に入れ、素早く蓋をしてください。約1時間程度は、蓋を取らないで下さい。
- 本体と蓋が密着しているかを必ず確認して下さい。気密性が悪くなると、消火できません。
- 炭が、消し炭となり、次回にも使用できます。



**警告**

炭火をご使用中は、必ず換気をしてください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

# YAMAOKA

## 山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001 認証取得

本社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号

TEL. (06)6996-2351 FAX. (06)6997-3045

東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階

TEL. (03)3255-6755 FAX. (03)3255-6722

URL. <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail [info@silkroom.co.jp](mailto:info@silkroom.co.jp)

夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。